

架け橋期のカリキュラム（堀津小学校区）

共通の視点		5歳児		小学校1年生		
		I 4月～12月	II 1・2・3月	III 4月	IV 5・6・7月	V 8月～3月
(1) 期待する子供像		自分のよさを発揮しながら、仲間とともにあきらめずやりぬく堀津の子 ～仲間と願いを伝え合って遊びこむ姿から、目的に向かって仲間とやりぬく姿へ～〈重点とする10の姿 ②③④〉				
		仲間とともに考えたり協力したりしながら遊びこむ③④	仲間と伝え合い、自信をもって自分の力を発揮しながら遊びこむ③④	幼児期の学びを発揮し、新しい学校生活への願いや気付きを新しい仲間や教師に伝える③④	目的に向かって、仲間のアイデアを生かしながら、創意工夫を繰り返し活動する②④	目的を達成する中で自己の成長を実感し、自信をもって自分の考えを表現したり、活動につなげたりする②
(2) 期待する子供像につながる資質・能力を育成する園、小学校の活動	②自立心	・一日の生活の流れをわかり、今しなければいけないことを理解して、自ら行おうとする。 ・様々なことに挑戦し、失敗も繰り返す中で、考えたり試したりして取り組もうとする。	・物事を最後まで行う体験を重ね、自分でやろうとする気持ちをもったり、やり遂げた満足感を味わったりする。 ・友だちと相談したり協力したりしながら、一つのことに向かって取り組む楽しさや、達成感を体験する。	・自分でできそうなことを見つけて試したり、やり直したりしながら新しい生活をつくりだす。 ・集団での遊びや学級での活動を通して、仲間と一緒に活動する楽しさを味わう。	・遊んだり表現したりする活動を通して、生活や学習での課題に取り組む、できることを積み上げていく。	・運動会、児童会活動などで学級の仲間と共にやり遂げ、達成感、満足感を味わい、自信を深める。
	③協同性	・友だちと話し合ったり、相談をしたりしながら、遊びをすすめる。 ・グループで意見を出し合ったり、相談したりする。	・友だちと互いの良さや個性を認め合い、役割分担をしたり、協力したりする。 ・クラスみんなで意見を出し、共通の目的に向かって取り組む。	・「朝の会」のやり方を相談したり、係活動の内容を考えたりしながら活動する。 ・授業では、意見を出し合いながら活動に取り組む。	・遊びや活動を通して、仲間と進んで関わったり、遊びを工夫したりして、自分たちの生活を楽しむ。	・学級の一員として共通の目的に向かって仲間と一緒に考えたり、工夫したりして物事を解決する面白さを味わい続ける。 ・互いの考えのよさを感じたり、よさの違いに気付いたりしながらともに学ぶことを楽しむ。
	④言葉による伝え合い	・友だちに思いを伝えたり、思いを聞いたりする。 ・絵本や図鑑を見て、興味をもったことを保育士や友だちに話す。 ・話す人の話に関心をもって聞いたり、相手にわかるように話をしたりする。	・友だちと互いに思い出ししながら、伝え合う喜びを感じる。 ・絵本や図鑑の話の発展を想像したり、自分の経験と照らし合わせて話したりする。 ・相手の話を理解しながら聞いたり、順序立てて話をしようとする。	・国語や生活科等の教科の学習では、仲間と共に活動する中で、自分の思いを話したり相手の思いを聞いたりしながら、仲間とコミュニケーションを図ろうとする。	・発見したことや知りたいことを進んで仲間に伝えたり、仲間から聞いたことを自分の活動に生かしたりする。	・経験したことや考えたことを先生や仲間に伝えたり、相手の話を注意して聞いたりして、進んで伝え合いながら学びを進める。
(3) 指導上の配慮事項	先生の関わり	・やってみようとする気持ちを受け止め、目的がもてるようにする。 ・一人ひとりが安心して自分の思いを出せるようにする。	・一人一人の気持ちや考えを受容し、自己発揮できるようにする。	・発達段階を踏まえた時間割（10分～20分のモジュールを入れる等）や学習活動を工夫する。 ・幼児期に親しんだ活動を想起させ、生活しやすい、学びやすい環境づくりをする。 ・1年生担任とその他の教職員とのチームティーチングで活動や授業を工夫する。	・子どもの主体的な学びを促すような合理的な指導を行う。 ・一人一人が力を発揮している姿を認め、周りの子に広めていく。 ・話し合いの場を多く取り入れる。	・安心感・所属感を大切に学級づくりをする。 ・一人一人のよさを伝え合い、関わりがさらに深まるよう支援していく。
	環境の構成・環境づくり	・自分なりの遊び方、作り方、試し方が繰り返してできるようにする。 ・遊んだことが振り返られるようにする。（製作、コーナー遊び）	・子どもの思いやアイデアを遊びや活動に取り入れ、夢中になって取り組めるようにする。（運動遊び、お遊戯）	・学級文庫を設置する。 ・生活科室に遊びスペース、遊びの道具を準備する。	・自分のめあてや取り組みの内容が分かる掲示物を位置付ける。 ・学級遊びなどの休み時間の場の設定をする。	・授業形態を工夫し、児童が繋がり合える場の設定をする。 ・他学年との交流活動を行う。（1・2年生活科 遊びの交流・運動会の合同練習・合同音楽授業など）学校全体での取組を工夫する。
(4) 子供の交流	児童と園児	・1年生との交流（7月・11月） ・5年生と学校探検（12月） ・入学説明会（12月 5年生との交流）			・園児との顔合わせ会	・生活科「たのしいあきいっぱい」で園児と遊びの交流（10月・12月） ・5年生と園児との学校探検（12月） ・「もうすぐ2年生」での園児への学校紹介（2月）
	園児と園児（園）児童と児童（小学校）	・園外保育 ・散歩	・散歩 ・お別れ会	・1年生を迎える会（全校児童） ・2年生との学校探検 ・通学班会 ・なかよし遊び（縦割り活動） ・縦割り掃除	・通学班会	・6年生による美濃菊づくり活動紹介（11月） ・6年生を送る会（2月）
(5) 職員の交流		・小学校区合同会議・小参観（4月） ・小学校区合同会議・園参観（6月） ・市幼保小連携担当者会（8月）	・市幼保小連携担当者会（2月） ・小学校区合同会議・引継ぎ（3月）	・小学校職員の保育参観 ・保育園職員の授業参観、保小交流（園と小学校職員との児童理解） ・小学校区合同会議・小参観（4月）	・小学校区合同会議・園参観（6月）	・園実習（8月） ・保育園職員による授業参観（12月） ・幼保小連携担当者会（8月・2月）
(6) 学校行事・家庭や地域との連携		・入園式（4月） ・運動会（10月） ・保育参観（5月） ・親子バス遠足（5月） ・七夕おゆうぎ会（6月）	・生活発表会（2月） ・卒園式（3月）	・入学式 ・授業参観・学級懇談会 ・PTA総会	・希望制家庭訪問（5月） ・個人懇談（7月）	・運動会（11月） ・授業参観・学級懇談会（10月2月） ・小中合同あいさつ運動（年3回） ・個人懇談（12月） ・ふるさと学習（1月）